

# CandY Link Letter

キャンディリンクレター

Autumn 2023 | Volume 7

「看護部のためのeラーニングCandY Link」は「学習が続く(Continue) and 成果が上がる(Yield)・つながる(Link)」をコンセプトに2016年に誕生しました。新コース追加やテーマ教材の追加・改訂を行い、多くの皆さまにご愛用いただいております。

今号から、CandY Linkご利用施設のご活用方法を紹介します！

## 医療法人社団医鳳会さいたま岩槻病院

- 所在地：埼玉県さいたま市岩槻区慈恩寺75番地
- 病床数：一般病棟30床、回復期リハビリテーション病棟60床
- CandY Link契約コース：臨床ベーシック

### CandY Linkを導入したきっかけは？

導入したのは2023年4月です。それまでeラーニングは導入しておらず、無料体験版を申し込みました。使い勝手がよく、スタッフからの評判も上々だったので、導入を決めました。

### CandY Linkの活用方法は？

病院の診療報酬に関わってくる全職員を対象とした「感染対策」「医療安全」の研修に使用しています。具体的には月イチゼミの「感染対策」「医療安全」の講義動画を視聴し、学習の成果を確認テストでチェックしています。

また、**新人看護師への教育ツール**としても活用しており、事前にCandY Linkで課題を与えて、それを学習したうえで研修に臨んでもらっています。現場では先輩看護師が横について指導しており、業務後にCandY Linkを見ながら指導内容を振り返っているようです。そこで指導内容を改めて理解できることも多く、知識として定着しているのを感じる新人が多くいます。

さらに看護補助者にも「看護補助者セレクトコース」を活用しています。CandY Linkがあればオリエンテーションも可能なので、**ほかにツールを作る必要がなく、役立てられています。**

### CandY Linkの利点は？

「**個別学習**」ができることだと思います。新人以外では、その日の仕事につまずいたところ、知識不足だと感じたところを、家に帰ってから学習す

る職員が多いようです。家事や育児をしている職員も多いため、ちょっとした隙間時間を見つけて学習を進めています。1つのタイトルを短時間で学ぶことができ、個人の生活スタイルに合わせられるところがいいですね。

### 学習者のモチベーションを高める工夫は？

課題が終わった学習者には「修了証」を渡しています。また、当院の院長も協力的で、安全管理領域のコンテンツを他の職員と一緒に学んでいます。

当院には託児所があるのですが、そこで勤務する職員にもCandY Linkのコンテンツを学習するように指導しており、**院内全体で学習する雰囲気作り**を行っています。

### 今後の課題は？

今年度はeラーニングに慣れる意味もあって、主に「復習教材」として使用していましたが、**今後は「予習教材」として使用したい**です。

当院は脳神経系の病院で、病院の規模や性質上、近隣の大病院等で手術をした患者がリハビリ目的で転院してくることも多く、そうした患者を無事に自宅へ帰す(退院させる)ことが使命だと考えています。そうした**使命を果たせる看護師の育成のため**に、CandY Linkを活用したいです。

また、今年度から循環器系の診療も行っており、心電図などを学習する必要が出てきたので、CandY Linkで知識を身に付けていきたいです。

## 医療法人辰星会研記念病院

- 所在地：福島県二本松市住吉100番地
- 病床数：一般病棟216床
- CandY Link契約コース：臨床ベーシック、リーダー・マネジャー実践

## CandY Linkを導入したきっかけは？

コロナ禍で外部研修が減ったこともあり、**楽しみながら学習できる**CandY Linkを2021年から導入しました。

## CandY Linkの活用方法は？

当院ではラダー別に、全看護師に「ポートフォリオ」(教育ファイル)を配布しており、その中に学習すべき項目案や院内研修一覧などをファイリングしているのですが、CandY Linkの年間スケジュール案も含めています。それらを参考に、基本的には**看護師それぞれのペース**でCandY Linkの視聴を進めてもらっています。

そのほか、院内の各種検討会から視聴を促したい教材があれば案内しています。



各看護師に配布しているポートフォリオ。  
学ぶべき内容とその進捗が確認できる。

## CandY Linkの利点は？

短時間で学習できる教材なので、**学習者の好きなきときに自由に学べる**点がいいと思います。看護師の学びというのは“**成人学習**”ですから、個人の意欲やライフスタイルを尊重できるよう、個人で好きなきときに見られるメリットを存分に活かしたいと思っています。

また、CandY Linkの教材にはラダー (CandY Link独自ラダー) が示されていて、年間スケジュール案にもラダー別にどの時期にどの教材を学ぶとよいかが一覧表示されているので、**ラダー教育に活かしやすい**ですね。

## 学習支援において大切にしていることは？

特に学習が進んでいないスタッフに声かけを行う際、「**学習が進まない理由に耳を傾ける**」ことを大切にしています。学習が進まないからといって、学習意欲がないとは限りません。学習者それぞれの事情をまずは聞き、その内容に応じて必要な情報を提供することも、スタッフの学びを支援するうえで不可欠だと思います。

## 学習者のモチベーションを高める工夫は？

昨年からはじめたばかりですが、年1回開催する院内研究発表会でCandY Linkの視聴時間1位のスタッフを表彰しています。看護師と看護補助者それぞれに対して、表彰状の授与に加えてQUOカードを支給しました。当院では**院内全体で学習支援に対する理解がある**ため、このようなアイデアも実現しやすいです。

## 今後の課題は？

CandY Linkの活用も含めて看護部教育については日々評価しながら修正していく予定です。幸い、当院は看護部長や前任の教育担当者、各部署の課長などに**いつでも相談できる環境**があるので、さまざまな意見を交わして知恵を出し合い、スタッフがよりよく学べるシステムを構築していきたいですね。

## 2023年度プログラム一覧 公開中

臨床看護のeラーニング

# CandY Link

キャンディリンク

<https://clpr.medica.co.jp/> キャンディリンク



Welcome! **看護管理** サポートサイト

看護管理者様を支えるお役立ち情報満載!  
<https://kango.medica.co.jp/>

次号は2023年12月末発行です。お届け先の変更、ご不要連絡は下記へお願いします。ご意見やご感想も承ります。